

湯前町広報誌[広報ゆのまえ]

yunomae

01

2016.JAN
Vol.415

特集①

2015年10大ニュース

特集②

未来予想図

1/17、冬の奥球磨名物開催
奥球磨ロードレース告知

アイデアレシビコンテスト
下村婦人会市房漬の日

消防ラッパ吹奏大会
ラッパ班1部7連覇

【今月の表紙】
球磨一周駅伝大会



2015年 ゆのまえニュース ベスト 10



1 4月24日

10市町村の文化を全国に 人吉球磨のストーリーが日本遺産に認定

人吉球磨10市町村が連名で申請した相良700年のストーリーが県内第1号となる日本遺産に認定。全国から注目を浴びる中、日本遺産をテーマにしたシンポジウムや10市町村の広報担当者による合同特集も企画されました。

「人吉球磨の思いは一つ」を合言葉に合同特集が作られた
(城泉寺阿弥陀如来像)

6 10月25日



鶴田町長に答申した谷口幸範委員長(左)

湯前町人口ビジョンと 総合戦略を策定

湯前町人口ビジョン・総合戦略策定委員会が取りまとめた人口ビジョンと総合戦略を鶴田町長へ答申しました。総合戦略では平成27年度から平成31年までの5年間の基本目標や具体的な施策がまとめてあります。

7

11月2日～

まちづくりに 新たな風

二人の地域おこし協力隊を採用

11月に二人が新しく湯前の仲間入りをしました。地域おこし協力隊員は情報通信技術を使いながら、地域の活動に協力して、湯前の魅力をたくさんの人に伝えるために活動していきます。



湯前にやってきた
明るく元気な隊員

8 11月8日



コスプレを
した人でに
ぎわう祭り

アニソン、サイン会、 コスプレにファン熱狂 2015ゆのまえ漫画フェスタ

新しく始まった町民や町職員によるコスプレに来場者も笑顔。人気漫画家によるトークショーやサイン会、アニソン歌手のライブなどに1万6千人が酔いしれました。

9 11月15日

湯前町青年団東方白太鼓踊り で全国最優秀賞

全国青年大会



懸命な姿で観客に感動を与えた団員ら

東京都で開かれた全国青年大会郷土芸能の部。湯前町青年団が太鼓踊りで最優秀賞を受賞しました。湯前でもパブリックビューイングが開かれ、町民が団員の踊りを見守りました。

10

11月23日

生まれ変わったB&Gで健康づくり B&G健康づくり大会

改修したB&G体育館のロビーやミーティングルームを使って、住民の健康を高めようと健康づくり大会が開かれました。参加者はトランポリン、ウォーキング、エクササイズ教室に加え、新機材を試しながら健康づくりをしていました。



トランポリンを
体験する子ども



当選証書を受け取る鶴田町長

2 活き活きと輝き誇れる まちを目指して

4月27日 鶴田町政3期目スタート

任期満了による湯前町長選挙が行われ、鶴田正巳氏が3期目となる再選を果たしました。町民が幸せを感じるまちを目指してまちづくりが進められています。

3 5月31日
約430年前の姿を披露
八勝寺阿弥陀堂落成式



ゆるキャラも登場し、落成を祝った

国指定重要文化財「八勝寺阿弥陀堂」の保存修理工事落成式が開かれ、たくさんの人が約430年前の姿に戻った外観や堂内を見学しました。元横綱大乃国の柴田山康さんの講演も開かれました。

4

8月1日～

タブレットの
使い方を学ぶ住民



情報発信や福祉サービスにICT ICTを使った取り組みが始動

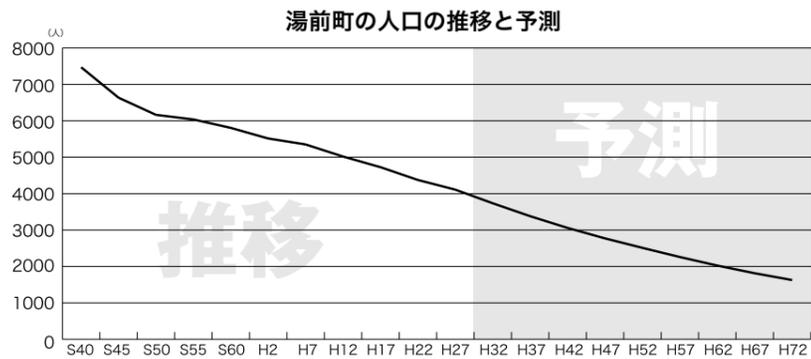
タブレット端末を使った高齢者の見守りや公民分館での健康づくりが試験的に行われました。10月からはタブレットの使い方や写真の撮り方を学ぶための講座も開かれるようになりました。

5 8月8日～
まちづくりに大学生が参加
湯前町オープンスクール開講

オープンスクールが開講し、大学生が町民と一緒に話し合いながら、さまざまな町のイベントで活動しています。参加者はことし2月に1年間の最終発表をする予定です。



1年間活動する住民と学生たち



昭和30年をピークに人口減少が続いている。何も対策をしなければ平成72年には1627人になるという予測が出ている

S40	S45	S50	S55
7,471人	6,634人	6,163人	6,038人
S60	H2	H7	H12
5,805人	5,514人	5,350人	5,018人
H17	H22	H27	H32
4,726人	4,375人	4,109人	3,735人
H37	H42	H47	H52
3,380人	3,058人	2,771人	2,511人
H57	H62	H67	H72
2,259人	2,024人	1,813人	1,627人

未来を予測して、町は今動き始める

8,768人のにぎわい

湯前では縄文・弥生時代の遺跡が見つかり、鎌倉から江戸時代にかけて国指定の重要文化財もたくさん建てられています。明治時代になると林業が盛んになり、大正13年に建てられた湯前駅舎は、当時木材切り出しの拠点でした。商店街も盛んで、町制が始まった昭和12年には染田・中里地区に100店ほどのお店がありました。鍛冶・金物15店あり、職人の町としても知られていました。昭和30年ごろに水上村の市房ダム建設が始まり、人口は8,768人に。宿泊、飲食、娯楽などのサービス業が栄えました。里宮神社で開かれるお祭りには多くの露店が並び、毎年数万人の人が町を訪れていました。

消滅の可能性

市房ダムの建設が終わるなど仕事も減ってきたことで、町の人口も少しずつ減り始めました。

民間有識者でつくる「日本創成会議」が昨年5月に一つのデータを公表。平成52年の人口を全1,800の市区町村別にまとめ、そのうち896市町村が「将来的に消滅するおそれがある」としたものです。人吉球磨の市町村すべ

未来予想図

特集

昭和12年に湯前が町になってから78年が経ちました。「こんな暮らしがしたい」。きつと、だれもが胸の中に理想を抱えています。町出身の風刺漫画家、那須良輔さんはかつて、自然と人の笑顔があふれる未来予想図を描き、自分の夢を未来へ託しました。昨年、日本創成会議では、「消滅可能性都市」のデータが公表され、地方の自治体に衝撃を与えました。私たちの町はこれからどうなっていくのでしょうか。今回は町の未来について考えてみませんか？

てが当てはまっています。昨年行われた国勢調査の速報では本町の人口は3,900人にまで減っています。人口の減少を緩やかにしようと、国は「まち・ひと・しごと創生法」をつくり、本部を立ち上げました。町でも対策を打つために「湯前町人口ビジョン」と今後5年間の「総合戦略」を策定。全世帯へのアンケートなど、住民の意見を取り入れながら計画を立てました。

2,148人を目指して

人口ビジョンでは、これからの人口の予測や職業ごと、年齢ごとの人口などがくわしく分析されています。このままいくと平成47年には人口3,000人を割り、平成72年には1,627人なるという結果が出ました。

本町では進学・就職をするときに若者が町外へ出ることが多くなっています。農林業に就いている人の数は昭和60年からマイナス45%。高齢化も進んでいて、全体の3分の1が65歳以上、60歳以上が半分を占めています。

現在、町の出生率は1.91人ですが、出生率を2.10人まで上げ、転入と転出の差が無くなれば、平成72年の町の人口は2,148人まで増えると予測されています。

総合戦略では子育てや雇用など4つの大きな目標を掲げています。町の魅力を活かしたさまざまな取り組みを行っていくことになりませんが、まずはいかに人が流出しない地域をつくっていくことができるか。町で生まれた子どもたちが地域に残るような仕組みが必要になっています。

総合戦略策定委員会
谷口 幸範 委員長(59=野中田2)



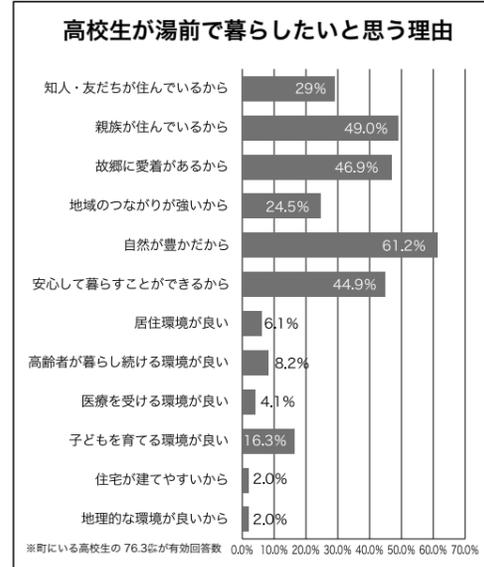
昭和37年に開かれた町制施行25周年のときの写真。子どもから大人までたくさんの方が湯前駅前に集まっている。



「あるもの探し」で 広がるアイデア

「無いものねだりからあるもの探しへ」。
まちづくりについて意見を出し合うワークショップが開かれ、住民が「こんな風になつたら良いな」という理想や「ここをもっと良くしたい」という町の課題などに意見を出し合っています。

表①



ことし6月、全町民にとったアンケート。町に住んでいる高校生にも答えてもらった

第1回の住民ワークショップが12月7日に開かれ、農業者や青年団員、子育て世代、住民グループなど約25人の住民が参加。参加者は、4班に分かれて話し合い、付箋(ふせん)紙に町の課題や理想を書いていきました。湯前駅周辺のにぎわいや子育て環境、雇用など、それぞれの視点で意見を交換。お茶やお菓子を食べながら話す参加者の表情は生き生きとしていました。ワークショップはことし1月末までに計4回開催。課題を解決するための具体的なプランを練り上げます。

「暮らしたい」理由

表①はことし6月、町に住んでいる高校生に「湯前で暮らしたいと思う理由は？」とアンケートをとり、その答えをまとめたものです。「自然が豊かだから」が61.2%、「親族が暮らしているから」が49%、「故郷に愛着があるから」が46.9%で上位を占めています。高校生活はこれから進路を考える大切な時期。人や故郷を大切に思うことで「こ

私たちの夢が子どもたちの夢に

将来、この町で生きていくことを選んでくれる子どもは一体、どれぐらいいるのでしょうか。仕事や子育ての環境を整えるだけでなく、この町への愛着がなければ、子どもたちがその道を選ぶことはありません。自分の生まれ育った町を好きになってくれるために、私たちには何ができるのでしょうか。

それは町の人や物、私たち大人が湯前の良さにたくさん気づき、町を愛すること。この町で希望や夢を持って生きている大人たちの背中を見て子どもは育ち、同じような気持ちが根付いていきます。

数えてみてください。あなたはこの町の良さをいくつ知っていますか？湯前に住んでいることを誇りに思い、今を精一杯生きていくことで私たちの町の未来予想図が描かれていきます。

特集 未来予想図(完)一



①自分の思いをお互いに伝え合う参加者たち
②付箋紙一枚一枚に自分の考えを書いていく
③年齢、職業、いろいろな人が意見を交わしている

この町で暮らすという選択
いろいろな対策で人口減少を緩やかできても、町の人口が少しずつ減っていくことは事実です。しかし、この町にはたくさんの希望があります。仕事やボランティアを頑張る人、好きなことに励む人、大切な家族を守る人。自分なりの目標を持ち、「生き生き」と輝く人がたくさんいます。



畜産農家
なかがま ゆうせい
中釜 由晴さん
(23=下染田)

農業を 魅力的な職業に

高校3年生のころぐらいから少しずつ家の仕事を手伝っていました。今は牛にエサをあげたり、小屋の修理、堆肥出しなどをやったりしています。農家の集まりや、消防団、野球などで横のつながりだけでなく、縦のつながりもたくさんできました。今、町で農業をやっている若者が少ないので、「農業がしたい」という人を増やしたいですね。頑張った分だけ自分に返ってくるという魅力を伝えていきたいです。

家業を受け継ぐ若者たち

いろいろな仕事ができるようになりたい



(有)椎葉農機商会
しいば ひろき
椎葉 浩樹さん
(24=下染田)

物心つく前から家の仕事をしたいと思っていて、高校を卒業して働き始めました。小さいころから機械を扱うことに興味があり、水遊びより油遊びが好きだと親から聞いています。今は農業用の機械の修理や販売をし、南九州を中心に各地に出向いています。農繁期にはほとんど現場に出ていますね。これからの目標は会社の2号店をつくること。整備士などの資格を取りながら、いろいろな仕事ができるように頑張りたいです。



住民の声

ひなの会 代表
やまうら つやこ
山浦 艶子さん(78=下村)
大正時代から残る駅舎があるので、その雰囲気合ったにぎわいをつくってほしいです。目標としてきた15回目のひなまつり展で、保育園の鼓笛隊や青年団の太鼓踊りなど、みんなと一緒にイベントができれば活性化にもつながると思います。



Iターン者
なすの まさこ
那須野 雅子さん(41=野中田3)
東京都から来て2年半が経ちますが、近所の方が野菜を分けてくれたり干していた洗濯物を取り込んでくれたりするほど人が温かいです。参加したくても後で知ることが多いので、小さなイベントまでホームページに情報が載っていると助かります。

「ゆのまえが好き」と
思えるまちづくり

昨年、本町をはじめ、全国ほとんどの自治体が「まち・ひと・しごと創生法」による人口ビジョン・総合戦略を策定しました。現在、人口減少を緩やかにし、地域活性化を目指して事業を進めています。国は「頑張る地方」への支援策を平成27年度補正予算案に盛り込み、すでに新型交付金を平成28年度から導入することとしています。「強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」を実現させるため、だれもが活躍できる「一億総活躍社会プラン」もことし春に取りまとめる予定です。「地方創生」と併せて、地方のすみずみまで活力のある日本経済を目指そうとしています。

町の人口は何も対策を打たなければ10年後には3,380人、20年後には2,771人、45年後の平成72年には1,627人になるという予測が出ています。昨年の国勢調査の集計速報では町の総人口3,990人という結果が出ました。現在、人口減少が予測より3年ほど前倒しに進んでいます。今後5年間、新たに策定した総

湯前町総合戦略本格始動

「まち・ひと・しごと創生本部」が国に設置されてから1年が過ぎました。この間、昨年10月末までに都道府県で36団体(81%)、市区町村で773団体(44%)が、それぞれの地形、地域性、独自性を考慮した、住民の住民による住民のための「人口ビジョン・総合戦略」を策定しました。

本町におきましても、先人が残してくれた地域資源、農地・林業資源などを原動力にした、湯前町総合戦略を策定し、具体的な事業を進めています。子育て支援に力を注ぎ、地域全体で成長を見守った子どもたちが、本町を離れ、そのまま都会へ住まざるをえない環境を改善しなければなりません。今後5年間で人口減少を少しでも抑制し、町民の皆さまが安心して末永く住んでいただけるよう執行部とともに全力を注いでいく所存です。

住民のためのまちづくり

昨今、国会議員・地方議員を問わず、議員に対して不信任や疑念を持つてしまうことが増えています。その背景には政治資金問題、政務活動費使途不明、児童買春問題な

合戦略の「持続的で魅力のある雇用」「人材の流出の抑制」「結婚・出産・子育ての希望を叶え、笑顔があふれる地域」「誇りを持ち、安心安全な暮らし」という4つの柱を中心に活性化を進めてまいります。

住民・企業と協同の にぎわいづくり

平成26年3月に運行を開始したくま川鉄道の新型車両「田園シンフォニー」で、観光客の入り込みも増えています。大正13年という歴史を持つ湯前駅は終着駅・始発駅として観光客が長い時間立ち寄ることが出来る駅です。ワークショッ

グリーンパレス中段広場では地元の間事業者3社と連携し、地元の球磨杉をふんだんに使ったコートジ3棟を新しく整備しています。林業事業者と一体になって行う湯前ならではの取り組みも始まっているところです。

町の文化を全国へ

本町を含む、人吉球磨地域のストーリーが昨年4月、文化庁から

ど、新聞やニュースで取り上げられるような問題があります。議会の本来の役割は、町執行部が行う行政全般について適切に執行できているかをチェックし、町民の皆さまからいただいた声を反映した政策提言を行うことです。私たち議員は、有権者である皆さまからの一票を預かり、住民の代表者として住民福祉の向上のために、まちづくりの一翼を担っているわけです。

平成24年11月の改選から3年が過ぎました。今一度、議員一人一人が初心に帰って、私たちに与えられた職責を全うするよう、努力してまいります。

若者・女性の参政を

昨年4月に全国各地で行われた統一地方選挙では、投票率が最低を更新した自治体が多く、無投票当選を果たした首長や議員が多かったことは皆さまご承知のことです。特に若者の政治への対する関心度が低く、20代の投票率が低い状況です。原因として考えられることは、議員への対する不信感や疑念があるほか、若者や女性が政治に参加しやすい環境が整っていないことが原因だと考えられ

日本遺産に認定されました。大きな争いや災害もなく、文化を守り続けてきた先代から受け継いだ大切な財産です。魅力ある歴史のストーリーと地域にある文化財を活用して、地域活性化の取り組みを進めていきます。

湯前中学校の伝統文化の継承活動は昨年で11回目を迎え、熊本県庁にてその活動が表彰されました。湯前町青年団は全国の舞台で東方白太鼓踊りを披露し、最優秀賞を受賞するなど、若者の活躍がめざましい年でもありました。今後、さらなる活躍を期待いたします。

「町民総活躍時代」到来

町にある資源を磨き、実績を検証して、続けていくこと。地方創生のチャンスは町の中にあります。町民が生き活きと輝き、誇りに思えるような町のポテンシャルを発揮できれば、必ず道は開かれます。今まさに一人一人が主役となる「町民総活躍」の時代が訪れています。

結びに、ことし1年が町民の皆さまにとって健やかで輝かしい年になりますよう、心からご祈念申し上げます。平成28年 元旦

平成28年 元旦

ます。時代が変わり、農林業者や自営業者が減少する中で、議員職を専業とする場合、4年に1度は選挙があります。専業で生活していくことを考えますと、子育て世代の若者にとつて立候補することは厳しい状況です。今後、国を挙げて若者や女性など幅広い層に立候補していただけるような環境づくりを進めていかなければならぬと強く感じております。

ことし11月には本町の議員改選の年です。町の将来のため、「これからも住み続けたいゆのまえ」づくりのために、若者や女性の立候補者が増えることを切に願っています。

最後になりましたが、町民皆さまのご多幸と、本年が皆さまにとりまして飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

平成28年 元旦

新年明けましておめでとうございます
町民の皆さまにおかれましては
希望を胸に、輝かしい新春をお迎えのことと
心からおよろこび申し上げます

湯前町議会議長 山下 力



新年明けましておめでとうございます
町民の皆さまにおかれましては
本年もお健やかに新春をお迎えのことと
およろこび申し上げます
昨年もちづくりにより多大なお力添えを
賜りましたことに厚くお礼申し上げます

湯前町長 鶴田正己



Zoom Up Activity



猛烈な追い上げて区間賞を受賞した8区榎木選手



町民も笑顔で応援



全力でたすきをつないだ
3区工藤祐選手と受け取る4区大平選手



5区工藤孝選手からたすきを受け、どんどん
スピードを上げていった6区栗原選手



人吉球磨9市町村21チームが競い合った



チームの心を一つに



Bチーム(1区北崎選手、2区森川選手)

湯前A、5位

第63回球磨一周駅伝大会
第3回球磨一周駅伝市町村対抗熊日駅伝大会は12月20日、人吉市の人吉城跡ふるさと歴史広場前をスタート、ゴールとする8区間、52.65キロのコースであり、人吉球磨9市町村、21チームが出場。湯前Aはトップと8分55秒差の5位でゴールしました。

湯前町は3チームが出場しました。Aチームは5位でたすきを受けた6区栗原泉選手(湯前中2年)・上柴田が区間2位の走り、8区榎木謙雄選手(30古城区出身)が区間賞の走り、怒りの追い上げを見せました。湯前Bチームは昨年からの7つ順位を上げる11位、湯前Cチームは4つ順位を上げる17位でゴールするなど、全員が最後まで全力を出したレースになりました。町民は精一杯の声援と拍手で選手たちを応援していました。

〈総合成績〉

- ① 錦町A 2時間54分07秒
- ② あさぎりA 3時間01分01秒
- ③ 人吉A 3時間02分09秒
- ④ 多良木A 3時間02分20秒
- ⑤ 湯前A 3時間03分02秒
- ⑥ 湯前B 3時間03分02秒
- ⑦ 湯前C 3時間14分57秒
- ⑧ 平川裕典、山崎隼汰、椎葉太、赤池泰誠、椎葉直斗、多田華歌、間下法慈、椎葉翔太
- ⑨ 湯前A 3時間22分30秒
- ⑩ 北崎順也、森川勝己、ギャレット・スタンフォード・オル

〈個人成績〉

■湯前A

※(通過順位)(区間順位)

- ▽1区(8・75キ) 多田 恵太 30分05秒 (5)(5)
- ▽2区(4・35キ・中学生) 渋谷 優斗 15分04秒 (5)(16)
- ▽3区(5・88キ) 工藤 祐二 20分52秒 (4)(7)
- ▽4区(7・70キ) 大平 修市 27分03秒 (5)(5)
- ▽5区(6・97キ) 工藤 孝昭 24分31秒 (5)(5)
- ▽6区(2・30キ・女子) 栗原 泉 07分56秒 (4)(2)
- ▽7区(7・57キ) 椎葉 祐介 25分11秒 (6)(6)
- ▽8区(9・43キ) 榎木 謙雄 30分37秒 (5)(1)

湯前町第1部 7連覇 個人も制す

第22回球磨人吉消防
ラッパ吹奏大会は12月6
日、あさぎり町須恵文化
ホールで開かれ、湯前町が
第1部団体で7連覇を達
成、那須由香さん(41歳植
木)が個人の部を制し、ダ
ブル優勝を果たしました。

消防ラッパ吹奏技術や規律
の意識を高めるために2年に
一度開かれ、県消防協会球磨
支部が主催、同協会人吉支部
が共催しています。第1部で
は指定曲と選択曲を10市町村
と個人24人が吹奏。本町は連
覇のプレッシャーがかかる中、
きびきびとした規律と息の
合った吹奏を披露し、審査員
をうならせました。

■成績

- 〔第1部〕
- ▽団体
- ①湯前町
- ②相良村
- ③あさぎり町
- ※敢闘賞 人吉市
- ▽個人
- ①那須由香(湯前町)
- ②荒川千尋(あさぎり町)
- ③池田晃一朗(錦町)
- ※敢闘賞 池田国大(相良村)

- 〔第2部〕
- ▽団体
- ①相良村
- ②あさぎり町
- ③錦町
- ※敢闘賞 湯前町
- ▽個人
- ①中村恵理子(あさぎり町)
- ②野口貴代(山江村)
- ③渡辺謙一(あさぎり町)
- ※敢闘賞 守永幸太郎(錦町)

NO.1 球磨人吉消防ラッパ吹奏大会



息の合った音色を会場に響かせた

NO.3 観光アプリ開発ワークショップ

町×専門家×学生 力を合わせて アイデア出し



4班に分かれて、それぞれの視点で意見を出し合う参加者

町ICT(情報通信技術)利活用推進協議会が主催する観光アプリ開発のワークショップが11月28日から12月20日までに計4回、湯楽里合宿棟で開かれ、60人が参加し、観光の情報を発信するためのサービスを考えました。



デザインやICT、それぞれ専門的な知識や技術を活かして資料を作った

取り組みはスマートフォンを使って町の情報発信を進めるためのもので、町民やゆのまえ大学の学生、熊本でICTを使ったコミュニケーションサービスを専門とする「APPLEAGUE(アップリーグ)」のメンバーが参加。初日は町職員が特産品や観光場所などの町の現状説明したあと、参加者は町内を回り、見つけた素材やアイデアを紙に書き出していきました。

その後アイデアを絞り、4班に分かれてサービスを表現するための企画書を作りました。メンバーは「町民の笑顔を掲載するアプリ」「町民のアイデアを掲載するアプリ」「おっぴい」にかかわるイベントを支援して若者の交流を促すアプリ「漫画を使って湯前の観光案内をするアプリ」などの町の特徴を活かした提案をしていました。同協議会はアイデアを実現するために補助金などを使ってアプリ開発を進めていく予定です。

湯前小持久走大会



目標タイムを目指して全力で走る児童ら

平成27年度の湯前小持久走大会は11月28日、同校運動場をスタートゴールに開かれ、児童190人が自分の目標タイムを目指して町内を駆け抜けました。

3・4年生、1・2年生、5・6年生の順にスタート。始まる前には「頑張るぞ!」と手をつき上げ、全員で気合いを入れました。2・6キロのコースを走る5・6年生の部では橋本颯汰くん(同校5年11中里1)が9分42秒の新記録でみごと1位に輝きました。各クラス上位者が表彰され、自分の目標タイムと実際のタイムの差が5秒以内の36人がびたり賞を受賞しました。沿道では保護者や住民が集まり、児童にたくさん声援を送っていました。

NO.2 目標目指して全力疾走

湯前中学校校内ロードレース・駅伝大会



たくさんの応援を受けながら走る生徒

湯前中学校校内ロードレース・駅伝大会は12月18日、同校運動場をスタート・フィニッシュとして開かれ、全校生徒98人がクラスのきずなを深めていました。

各クラスの平均タイムで競うロードレース(3キロ)には男子26人、女子20人の生徒が出場しました。各クラスのチーム平均順位で競う駅伝では3選手が区間賞を受賞するなど、3年生が意地をみせ、3年2組Bチームが駅伝競走の部と平均スピードの部で1位になりました。グラウンドでは生徒たちが選手を最後まで応援する姿がありました。



利用者のかけ声に合わせてもちつき（福寿荘）

NO.5 各地でもちつき

老若男女が新年祝う

このほど町内一帯で伝統のもちつきが行われ、子どもから大人までが一緒に楽しく楽しんでいました。

12月9日には特別養護老人ホーム「福寿荘」でもちつきが行われ、利用者約80人と同物資納入組合員9人、水上村湯山小学校児童13人が参加しました。利用者が「よいしょ!」、「頑張れ!」、もちをつくる組合員や児童を応援。つき手はかけ声に合わせてリズムよくもちをついていました。

慈光保育園のもちつきは12月10日に同園で行われ、園児106人と3歳〜年長児の祖父50人が参加しました。園児たちは「右足を引いて構えて」などのアドバイスを受けながら、大人と一緒に一人3回ずつもちをつきました。湯前保育園のもちつきは12月22日に、同園で開かれ、3歳児以上の45人の園児が一人ずつもちをつきました。みんなでもちつきの歌を歌い、「ベタン」と良い音が出ると園児たちはうれしそうに笑っていました。



みんなで仲良くもちつきを楽しんだ（湯前保育園）



保護者と一緒にもちつきを楽しむ園児（慈光保育園）

NO.4 市房漬け記念の日



オンラインで開かれたうえやまとちさんの料理教室

「市房漬の日」感謝祭は11月22日に下村婦人会市房加工組合で開かれ、同組合の漬け物を使ったレシピコンテストやオンライン料理教室などにぎわっていました。



試食しながら作品を審査する審査員たち

レシピコンテストは「わが家の晩ごはん」わたしのおやつ」がテーマとしてあたられ、持ち込まれた30点の味や見た目を漫画「クッキングパパ」の作者、うえやまとちさんや人吉市の郷土家庭料理「ひまわり亭」の本田節代表、鶴田正巳町長などが審査しました。最優秀賞の下村婦人会賞には山浦艶子さん(78)下村)の「寒つばき」、柚子マーマレードを使った森田真音香さん(28)上村)の「柚子マーマ



具に漬け物を使ったコロッケ

レードシュークリーム」が選ばれました。町は今年度から中猪地区の空き家をうえやまさんのアトリエとして活用。アトリエではうえやまさんによるまんが体験教室とオンライン料理教室が開かれました。加工場とアトリエをインターネットでつなぎ、うえやまさんが加工場で具に漬け物を使ったコロッケの作り方を披露。参加者はアトリエ側で実際に料理をして楽しんでいました。

工夫を凝らした漬け物レシピ多数

受賞者と作品名

下村婦人会賞

- ▽山浦艶子「寒つばき」
- ▽森田真音香「柚子マーマレードシュークリーム」

うえやまとち賞

- ▽林泰広「柚子みそアイスマップル添え」

幸・感謝賞

- ▽三宅トミ子「大人のデコレーションすし」
- ▽西美記子「ぎりしぐれおこし」

市房漬賞

- ▽岩野君枝「うずまき肉しのだ」
- ▽池田タメ子「梅まくら寒天」

だんだんなあ賞

- ▽田山隆代「柚子マーマレードとかぼちゃ&生クリーム」
- ▽谷川好子「なすのからし漬つぶら」
- ▽石見早子「柚子マーマレードねったんぼ」
- ▽田山厚子「柚子みそ入りのロール巻」

11月21日(土)~

第19回城南地区シニア野球大会(満50歳以上)の決勝戦が21日に開かれ、湯前クラブ(川崎菊男監督)が八代エンゼル実年を7-0のスコアで破り、2年ぶりの優勝を決めました。今大会は13チームが出場。決勝戦の初回に4番斎谷明彦選手、5番中園誠二選手の連続タイムリーで先制し、得点を重ねました。投げては税所義治選手が5回途中までノーヒットノーラン。6回コールドで、みごと優勝旗を湯前に持ち帰りました。

■試合結果

1回戦：八代レッドソックス(八代市)	10-3
2回戦：人吉シニアクラブ(人吉市)	7-3
準決勝：豊野クラブ(宇城市)	6-3
決勝：エンゼル実年(八代市)	7-0

打で圧倒、湯前クラブV奪回
城南地区シニア野球大会



完全勝利で頂点に立った選手たち

11月23日(月)

看取りについての講演会が11月23日に農村環境改善センターで開かれ、約150人が参加しました。

講演会は人生の最後まで自分らしい暮らしを続けられるようにと湯前、多良木、水上の3町村と上球磨地域包括支援センターが主催。公立多良木病院の緩和ケア認定看護師、淵田ルミ子さんが「自分らしい人生最終章の考え方」地域で育むエンド・オブ・ライフケア」の演題で講話しました。淵田さんは「治すだけでなく、どこで人生の最後を迎えたいかなど今のうちから家族や大切な人と話し合うことが大事」と参加者に訴え、参加者は「自分も人生の最後の準備をしたい」と感想を残していました。

自分らしい人生の最後を考えて
「看取り」についての講演会



参加者に前もって話し合うことの大切さを説いた淵田さん

12月1日(火)

人吉球磨食品衛生協会(下瀬重次会長)の1日食品衛生監視は12月1日、湯前町一帯で行われ、同協会の指導員や湯前町、水上村の住民ら18人が、各事業所の衛生や適正な表示がされているかなどを確認しました。

参加者は商工会館で手洗いや適正表示などの知識を学び、クマレイ(株)、サンロード、Aコープを視察。スーパーでは肉、魚などの食材の表示を指導員と確認していました。参加した林敦子さん(48)下城は「いつもは産地ぐらいしか見ないが、あらためて表示を見るというんなことが書いてあった。子どもがいる家庭などたくさんの方が表示を確認するようになれば」と話していました。

消費者も表示をチェック
1日食品衛生監視



食品の表示をチェックする住民

12月4日(金)

平成27年度「税に関する作品」の表彰が12月4日、湯前小学校で行われ、佐々木凜人くん(同校1年上里3)が習字の部で湯前町長賞を受賞しました。

表彰は子どもたちに税への興味を持ってほしいと人吉球磨地区租税教育推進協議会(末次美代会長)が主催。習字の部では学年ごとにテーマが決められ、佐々木くんは大きさをバランスを整えて「ぜい」の文字を書きましました。佐々木くんは「賞をもらってうれしかった。これからは習字がうまくなるように頑張りたい」と話していました。

昨年11月8日にまんが美術館一帯で開催された、2015ゆのま漫画フェスタの会場内にも佐々木くんの作品が展示されました。

湯前町長賞に佐々木凜人くん
「税に関する作品」表彰



町長から表彰を受ける佐々木くん

12月5日(土)

平成27年度湯前保育園(東理絵園長)の発表会が12月5日に同園で開かれ、89人の園児が合唱や劇、ダンスなどを保護者らに披露しました。

この日はわが子の成長を目に焼きつけようとたくさんのお母さんが駆けつけ、会場は満員。園児たちは保育士が手がけた衣装を身にまとい、クラスごとに合奏や遊戯、劇などを発表しました。

もも組(1、2歳児)の遊戯「すすめだんごむし」では帽子や茶色の衣装に着替えた園児が踊り、会場から「かわいい」との声がたくさん上がりました。さくら組(年長児)の劇「桃太郎」では、園児たちが台詞を間違わず、大きな声と動きを披露し、立派な発表に会場からは大きな拍手が送られました。

大きな声や動きで発表
湯前保育園発表会



元気いっぱいの発表をした園児たち

12月14日(月)

湯前町社交ダンス愛好会(那須清文会長)は12月14日、チャリティー社交ダンスパーティーで得た収益金の一部を町社会福祉協議会に寄附しました。

チャリティーは12月12日に湯前町商工会館で開かれ、人吉球磨郡市内から約50人が参加。開催はことしで4回目。参加者は会場内で流れている曲に合わせて踊り、カラオケや料理も楽しんでいました。那須会長は「ことしは人数も多く、とても盛り上がった。(寄付金は)町の福祉のために使ってもらえれば」と話していました。

愛好会のメンバーは現在8人。稲田實さん(66)馬場を講師に生涯学習教室や公民館で毎月練習を重ねています。

ダンス愛好会が収益金を寄附
チャリティー社交ダンスパーティー



収益金を寄附した那須会長(右)と会員の加藤ミエ子さん

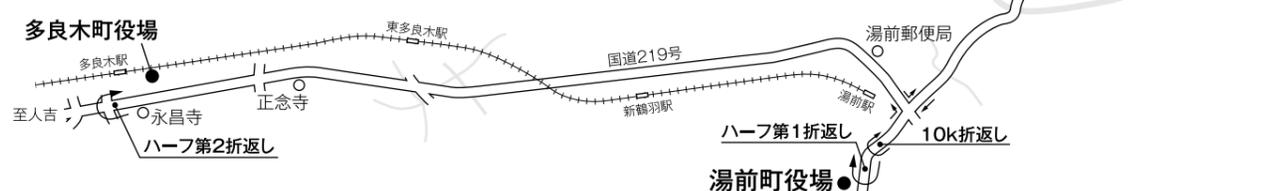
第4回公認 奥球磨ロードレース大会

女子ハーフ新設 総数645人がエントリー

第4回公認奥球磨ロードレース大会が1月17日に水上・湯前・多良木の3町村で開かれ、日本を代表するアスリートが奥球磨を駆け抜けます。

ハーフマラソンの部(一般男子)には3年連続の出場となる川内優輝選手(埼玉県庁)や藤原正和選手(Honda)など、実業団や大学生の招待選手29人を含む121人のランナーが出場。ことしからハーフ女子の部も開かれ、小崎まり選手(ノーリツ)など7人の招待選手を含む21人がレースに挑みます。総参加者数は645人。冬の奥球磨で繰り広げられる熱戦を皆さんもぜひ沿道でご覧ください。

★コース図 (公財)日本陸上競技連盟公認コース

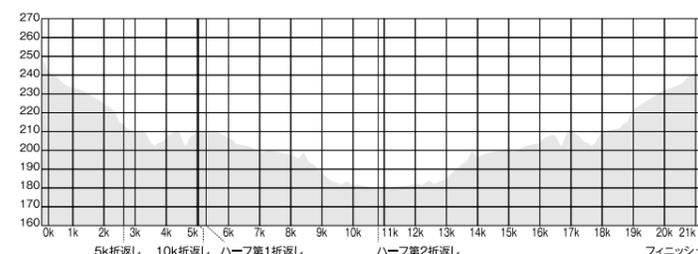


開催日
1月17日(日)

開会式
1月16日(土) 午後4時30分～
水上村岩野公民館

表彰式
レース終了後、
午後12時30分～(予定)
水上村立水上中学校体育館

★コース高低図



★スタート時刻

9:20～ 中学生男子 (5名)	10:00～ 女子フリー (5名)	10:45～ 一般男子・女子 (ハーフマラソン)	11:00～ 高校生男子 (10名)
------------------------	-------------------------	--------------------------------	--------------------------

見方
招待選手
太字は 熊本県出身者
ナンバーカード

 かわうち ゆうき 川内 優輝 埼玉県庁 1時間2分13秒 1	 ふじわら まさかず 藤原 正和 Honda 1時間2分23秒 2	 いちだ ひろし 市田 宏 旭化成 1時間2分25秒 3	 わたなべ だいすけ 渡辺 大輔 トヨタ自動車九州 1時間3分37秒 4
 まかべ たけし 真壁 剛 黒崎播磨 1時間2分58秒 5	 いとう ゆうや 伊藤 祐哉 トヨタ自動車 1時間2分21秒 6	 もともら だいち 元村 大地 日清食品(錦町出身) 1時間3分14秒 7	 ひろすえ すぐる 廣末 卓 日清食品(湯前町出身) 無し 8
 たなか けいすけ 田中 圭佑 富士通(熊本県出身) 1時間2分38秒 9	 いひぬま けんた 飯沼 健太 SGHグループ 1時間2分09秒 10	 あべ たつみ 阿部 竜巳 小森コーポレーション 1時間2分55秒 11	 みわ しんたろう 三輪 晋大朗 NTN 1時間4分12秒 12
 ジェームス・ムワンギ NTN 無し 13	 はしもと せい 橋本 滯 東洋大学 1時間3分35秒 14	 のむら しゅんや 野村 峻哉 東洋大学 無し 15	 ほりあい だいすけ 堀合 大輔 駒沢大学 1時間4分34秒 16

 うちだ つばき 内田 翼 青山学院大学(九州学院高出) 1時間5分42秒 17	 こんどう しゅういちろう 近藤 修一郎 青山学院大学(九州学院高出) 1時間4分06秒 18	 よしなが りゅうせい 吉永 竜聖 青山学院大学(九州学院高出) 1時間3分55秒 19	 よしだ かえで 吉田 楓 明治大学 1時間4分20秒 20
 たるみ たかし 垂水 隆 東海大学(九州学院高出) 1時間5分03秒 21	 山梨学院大学 22	 ながと しょう 永戸 聖 山梨学院大学 1時間4分36秒 23	 みやざき ゆうしょう 宮崎 勇将 日本体育大学(千原台高出) 1時間9分01秒 24
 おおなか りょうや 大中 亮矢 拓殖大学(千原台高出) 1時間5分09秒 25	 おおたくろ すぐる 太田 黒卓 上武大学(湯前町出身) 無し 26	 こうら りょうたろう 高良 綾太郎 東京農業大学 1時間5分48秒 27	 やまぎ ゆうと 八巻 雄飛 国士舘大学 1時間5分39秒 28
 ふくしま ひろき 福島 弘樹 日本文理大学(鎮西高出) 1時間8分46秒 29	 おさき まり 小崎 まり ノーリツ 1時間9分33秒 30	 ほりえ みさと 堀江 美里 ノーリツ 1時間10分26秒 31	 みぎた あい 右田 愛 ワコール(人吉市出身) 1時間14分05秒 32
 ひぐち のりこ 樋口 紀子 ワコール 1時間10分51秒 33	 いはら ちか 猪原 千佳 肥後銀行(多良木町出身) 無し 34	 ふるせ あさみ 古瀬 麻美 京セラ 1時間12分01秒 35	 かどやなぎ はづき 門柳 葉月 福岡大学 1時間15分26秒 36

少女から大人への輝ける瞬間、強さと切なさをつむぐ長編小説



本屋さんのダイアナ
柚木 麻子(著) 新潮社

私の呪いを解けるのは、私だけ。「大穴」という名前、金色に染められたバサバサの髪、行方知れずの父親。自分の全てを否定していた孤独なダイアナに、本の世界と同級生の彩子だけが光を与えてくれた。正反対の二人は、一瞬で親友になった。そう、「腹心の友」に。

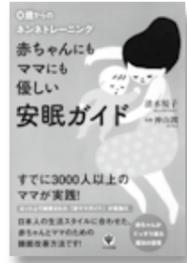
力を結集し“災い”に立ち向かう！



荒神 宮部みゆき(著)、朝日新聞出版

時は元禄、東北の山間の仁谷村が一夜にして壊滅状態になる。となり合う二藩の因縁、奇異な風土病をめぐる騒動…不穏さははらむこの土地に“怪物”は現れた。仁谷擁する香山藩では病みついた小姓・直弥や少年・袁吉らが、香山と反目する永津野藩では専横な藩主側近の弾正や心優しいその妹・朱音らが山での凶事に巻き込まれていく。

同じように夜泣きに悩むママたちへ伝えたい



赤ちゃんにもママにも優しい安眠ガイド
清水悦子(著)、神山潤(監修)、かんき出版

赤ちゃんがぐっすり眠る魔法の習慣。日本人の生活スタイルに合わせた、赤ちゃんともママのための睡眠改善方法。

みんなの大好きなうたが絵本に!?



おべんとうばこのうた
さいとうしほ(著、イラスト)
ひさかたチャイルド

これくらいのおべんとうばこにおにぎりおにぎりちよいとつめて…みんなの大好きなうたが絵本として登場

中央公民館図書室

読書のススメ



○平日8:30~17:00
○土日・祭日9:30~17:00
※貸出期間は2週間で、一人5冊まで。
〈お問い合わせ〉中央公民館
(TEL 0966-43-2050)

交通規制のお知らせ

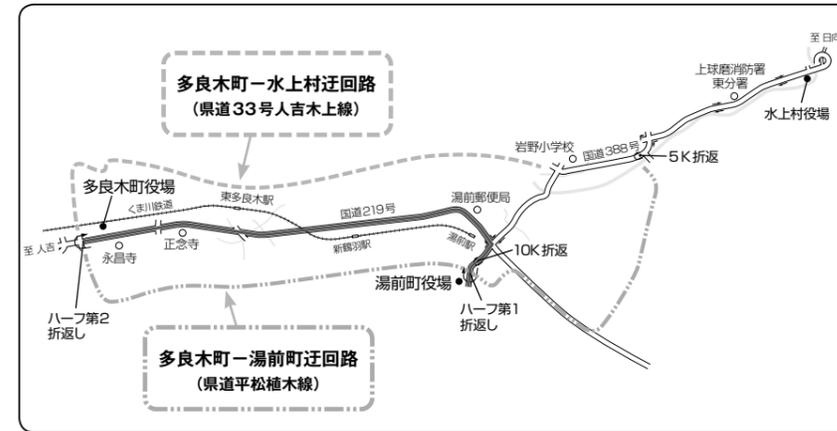
1月17日 **AM10:50~12:00**まで
国道219号(多良木~湯前間)などが
全面通行止めになります

公認奥球磨ロードレース当日で交通規制がかかります。沿線以外でも交通渋滞や混雑が予想されます。迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

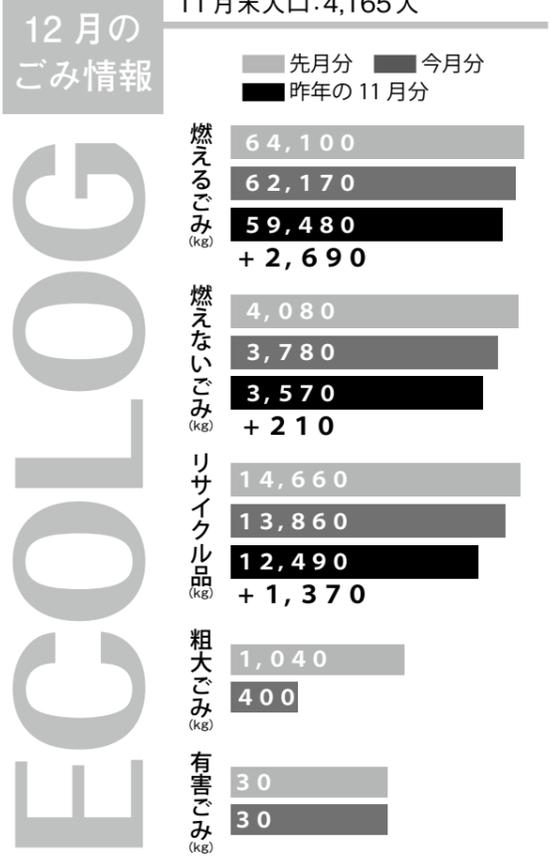
〈規制場所と時間〉

- 9:10~12:00**
国道388号線 ▶(水上村役場~岩野小学校交差点)
- 10:50~11:30**
県道43号線 ▶(湯前町役場~国道219号線)
- 10:50~12:00**
国道219号線 ▶(多良木町 駅前交差点~湯前町 時の公園前交差点)

※コースにつながる道路も交通規制がかかることがあります。
※安全を保つため、予告なしに交通規制の時間や場所が変わることがあります。
※産交バスは通常どおり運行する予定ですが、湯前駅周辺が混雑するため、10分ほど遅れる可能性があります。



ご不明な点は
奥球磨ロードレース大会
実行委員会事務局
(B&G海洋センター)まで
お尋ねください。
Tel 0966-43-4555



迎春 新年明けましておめでとうございます

ことしも4日からごみ収集が始まりました。年末・年始のごみは、分別・リサイクルできましたか? 「ごみ分別」「ごみを出さない工夫」「買い物の工夫」で「ごみ減量」にご協力をお願いします。町民の皆さん一人一人のご理解とご協力でごみの負担金を減らすことができます。

平成27年に湯前町民が出したごみの量は一人あたり182.5kg。人吉・球磨郡内では錦町の次いで10市町村中6位でした。ごみ袋一つで130円かかりますが、このごみの処理に町民一人あたり12,381円かかっています。

一人1日みかん1個分(102g)のごみを減らすと1位の水上村(145kg)に並びます。生ごみの水切りや食べ残し対策、リサイクルを実践しましょう!

一人あたり年間 **12,381円**

リサイクルステーションからのお願い!

*リサイクルは、「きれいなもの」が基本です。
*汚い物、不燃物は持ち込まないよう、きちんと分別をお願いします!

※1月の不燃物収集は **6日と20日**です。(第1・第3水曜日)
※ **1月11日(月)祭日**は、町委託業者のみの収集になります。

一人一人の意識が、ごみを変えていきます。ご協力をお願いします。

2カ月間、湯前の皆さんと活動します!
B&G財団から湯前へ 木村 康幸さん(30=愛媛県出身)

はじめまして! B&G財団(東京)から来ました木村康幸です。1月8日(金)から2カ月間、湯前町B&G海洋センターにお世話になります。目的は海洋センターを中心とした「コミュニティ作り」! 海洋センターの皆さんと新しい事業に取り組みます。皆さんからのアイデアも募集しています。スポーツ以外の事業も大歓迎です。「こんな事業があったらうれしい」など、ご意見がありましたら、ぜひ海洋センターまでおいでいただき、話を聞かせてください。



保健師だより

インフルエンザの症状や 予防方法を知って、 かからないようにしましょう

明けましておめでとうございます。年が明け、寒さも深まってきて、感染症がはやりやすい時期になりました。特にインフルエンザの感染力はとて強く、日本では約10人に一人が感染しています。インフルエンザをよく知ってかからないようにしましょう。



Q1 インフルエンザと普通の風邪はどちらがうの？

	風邪	インフルエンザ
症状	のどの痛み、鼻水、くしゃみや咳など局所症状。	38度以上の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然あらわれます。
流行の時期	1年を通して、ひくことがあります。	流行のピークは1月～2月。4月、5月まで散発的にはやることもあります。

Q2 インフルエンザにかからないためには？

- ①流行前に予防接種を受ける
- ②せきエチケット
せきやくしゃみで出る小さな水滴から感染します。
•せきやくしゃみが出る時はマスクをしましょう。
•手のひらでせきやくしゃみを受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。
- ③外出したあとの手洗い
アルコール製剤での消毒も効果があります。
- ④栄養と睡眠を十分にとり、抵抗力を高める
- ⑤人混みや繁華街への外出を控える



Q3 インフルエンザはどうやって治すの？



インフルエンザの治療には、抗インフルエンザウイルス薬というものがあります。

- 医師から薬が処方されたら指示を守って使ってください。
- 症状がある間は水分をとってください。汗をかいたときや脱水症状の予防のためにもこまめに水分補給しましょう。

参考：厚生労働省（文責：横矢和美）

編集後記

editorial note



【今月の表紙】

21チームが激突した球磨一周駅伝。湯前は3チームが出場しました。「勝ちたい。町のため、チームのために、自分のために」。強い気持ちを持って、全員が一秒でも速くすきを渡そうと、全身の力をふりしぼり人吉球磨の大地を駆け抜けていました。

▼新年明けましておめでとうございます。昨年も町内各地で取材に協力していただきましてありがとうございます。ことしも各地で見かけたら声をかけていただければと思います。

▼球磨一周駅伝の撮影をしました。たすきを渡す瞬間、勝負は一瞬。一発勝負のプレッシャーに負け、自分の町より、ほかの市町村の選手の方が良く撮れていました。ことはメンタルを一から鍛え直したいと思います。

▼今回の特集では湯前で暮らす人たちの思いを紹介させていただきました。私自身、二度町の外に出て、湯前に戻り、今の仕事に就いています。偶然にも弟も同じ年に帰郷し、湯前で働いています。都会と比べるとなにもありませんが、それ以上に帰りたくなくなるような何かがあったからこそ湯前で暮らしているのだと思います。子どもたちが同じような気持ちを持ってくれるように、私も湯前のことをたくさん伝えられるようになりたいと思います。

—湯前町青年団だより—

〈団長 瀧森 道太〉

がまだすっ!

2016
VOL.5



11・12月のわだいを
紹介します

Topicks

11/3
町民文化祭
舞踊・合唱出場&うどんバザー



11/15
第64回全国青年大会
※郷土芸能部門で最優秀賞

夢の全国大会出場で最高の賞を受賞しました。応援や支援をたくさんもらった分、これから地域のためにたくさん活動していきます。ありがとうございました!



11/8
漫画フェスタ
バザー



11/28
あさぎり町&相良村青年団との交流会
11/29 社協誕生会
12/12 全国大会報告会

青年団情報

- 1月 熊本県青年問題研究集会
- 1月24日 青年団駅伝
- 1月31日 里宮奉納ミニサッカー大会



事務局・会計
右田 千晴 (21=下村)
舞踊や合唱、伝統芸能などなかなか経験できないことができます!一緒に活動しませんか? 女子団員大歓迎です!

戸籍の窓

平成27年11月1日～11月30日届出分

- ご結婚おめでとう
- 落合 英一 (多良木町)
 - 愛甲 美由紀 (瀬戸町)
 - 齋藤 慎一郎 (熊本市)
 - 那須 智子 (田上)
- たんじょう
おめでとう(うぶごえ)
- 黒木 岳 (保護者名 瀬戸町)
 - 伊藤 友也 (賢一郎 (野中田1))
 - 椎葉 咲守 (祐介 (中猪))
- ご冥福をお祈りします
- 前田 文子 (あさぎり町)
 - 下川 ソユ子 (上里2)
 - 村上 正八 (浅鹿野)
 - 今田 直生 (下染田)
 - 濱川 袈男 (野中田2)
 - 中島 裕 (下里)
 - 香典返し
 - 東 キヨ子 (野中田2)
 - 森崎 勝 (浅鹿野)

あなたが描く未来予想図はー。



那須 良輔作「湯前町の未来予想図」

自然の豊かさ、人の温かさがあふれているまちへー。
そう願い、町出身の風刺漫画家が残した一枚の絵。
胸の中にある思いを形にすることで生まれるチャンス。
自分のため、家族のため、まちの子どもたちのために。
これからあなたはどんな未来予想図を描きますか？



※ご意見投稿はこちらから

活き活きと輝き、誇れるまちゆのまえ

広報ゆのまえ1月号

TEL 0966-43-4111 FAX 0966-43-3013
URL <http://www.town.yunomae.lg.jp/>

